

2009年2月27日(金)～28日(土)

霞ヶ関観光ホテル(HOTEL CANKOH) TEL:029-821-5110

第9回 癒しの環境研究会全国大会

茨城大会 □述発表抄録

=== 演 題 ===

(心理アセスメントとしてのコラージュ技法)を用いた

クリエイティブ・セラピー:～その癒し効果有効例の研究～

発表者=丸林恵造(NPO 法人日本クリエイティブ・セラピスト協会)

日本でコラージュ療法として知られているコラージュは、国際的には臨床心理学の中の投映法心理アセスメントの1つの技法、「コラージュ法」として知られている。コラージュ療法と言っても国際的には全く通用しない(心療内科医師:近喰ふじ子医学博士)。

コラージュは元々が投映法心理アセスメントの1技法なので、臨床心理学の知見に基づいて分析し、得られた情報をクライアント(以下 CI と略す)のために役立ててこそ存在意義がある。

クリエイティブ・セラピー(創作療法)は、投映法心理アセスメントの1つの技法としての「コラージュ法」を、セラピー関係で継続的に用いることを特徴とする心理療法である。

「クリエイティブ・セラピーにおけるコラージュ法(以下創作コラージュ療法と略す)」は、日本で一般的に行われている「解釈しないことを基本とするコラージュ療法」や、「創作カタルシス効果による改善を期待し、CIにただ作ってもらえさえすればよしとするコラージュ療法」とは立場が大きく異なる。

まず第1に創作コラージュ療法は、原則としてCIがコラージュを創っている時に、同時にセラピスト(以下 Th と略す)もコラージュ創りを行う。多くのCIはこの時、Thと一体感を体験し、その安心感によって癒される。

第2に創作コラージュ療法は、双方のコラージュ創りの開始から完成に至るまでの間、言語的手段(会話)および非言語的手段(コラージュの同時創作時に、両者の

創作行為が相互に影響し合う関係)の双方による活発な交流が行われ,多くのCIはその交流体験によって一層カタルシス効果が高められ,癒される.

第3に創作コラージュ療法は,原則として毎回,投映法心理アセスメントの1技法としての分析を行い,その情報を適時 CI に提供する.その際,多くの CI は自己理解が深まる体験をし,癒される.

本発表では創作コラージュ療法事例を紹介し,参加各氏からのご助言を期待するものである.